

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
キャリア情報論	企業を知る	栗原 圭二	2 年次前期
講義の目的	3 月から就活がスタートし企業説明会が始まっています。4 月～7 月は、企業の新卒採用活動はピークを迎えます。学生として、就職するという意欲を高めるとともに自分に向合う企業探しも重要になります。6 月からの面接試験に向けて、企業の担当者による説明会を開催することで情報を交換し、生の企業情報を知ることによって自分の就職活動に活用する事を目的とした講義です。		
到達目標	いろいろな企業の人事・採用担当者の講話を理解し、自分が志望する企業に適用できるようになる。		
講義内容	鉄道関連企業をはじめとして、交通・観光関連企業、一般企業等の人事・採用担当者、就職支援関連機関の担当者をお招きし、就職情報について講義していただきます。また、就職情報をはじめとした社会を知るためのツール（新聞・インターネット等）からどのように情報を得るのかを指導します。		
講義スケジュール	第 1 講	オリエンテーション 就職情報の入手方法	
	第 2 講	クレペリン検査及び解説	
	第 3 講	交通産業の仕事とキャリアを考える①～高速鉄道の事例を通じて～	
	第 4 講	交通産業の仕事とキャリアを考える②～関東大手私鉄の事例を通じて～	
	第 5 講	公務員の仕事とキャリアを考える①～国家公務員の事例を通じて～	
	第 6 講	公務員の仕事とキャリアを考える②～地方公務員の事例を通じて～	
	第 7 講	交通産業の仕事とキャリアを考える③～バス事業者の事例を通じて～	
	第 8 講	交通産業の仕事とキャリアを考える④～バス事業者における人材確保～	
	第 9 講	交通産業の仕事とキャリアを考える⑤～グループ・ディスカッション～	
	第 10 講	就職活動と労働法	
	第 11 講	就職活動と社会保障	
	第 12 講	交通産業の仕事とキャリアを考える⑥～公営鉄道の事例を通じて～	
	第 13 講	将来のキャリア形成を考える～鉄道事業者の事例を通じて～	
	第 14 講	将来のキャリア形成を考える～鉄道関連企業の事例を通じて～	
	第 15 講	まとめ	
方法指導	講義形式の授業。質問を用意して意欲的に参加しましょう。		
授業外学習	授業前の事前学習として、当該企業の概要を調べるとともに、自分がその企業に何を聞きたいかを明らかにして授業に臨むことが必要である。また、事後学習として、自分の就職活動に役に立つ点を手帳等にまとめておくことを勧める。		
成績評価方法	参加型講義のため、授業貢献姿勢を重視し、定期試験により総合判定します。 本試験（筆記試験）50%、平常点（発表・発言）10%、平常点（感想シート）40%		
ステキ	なし		
書籍参考	なし		
事項記	企業の担当者等の都合上、スケジュールが前後する場合があります。		